

教員養成フラッグシップ大学 ヒアリング審査 【追加調書】

大学名：東京学芸大学

テーマ：先端教育人材育成推進機構を核として、教育者養成の在り方を持続的に探究する大学へ

概要（5行程度）：「令和の日本型学校教育」を担う教師に共通に必要な創造的な資質・能力を育成するため、「子供と教師が共に新たな社会を創造していく学校教育の実現」をテーマに、先導的プログラムの研究開発、成果の普及展開、教職課程に関する制度改善への提言を行う機能を「先端教育人材育成推進機構」を核として構築し、持続的に教育者養成の在り方を探究する。

構想において取り組む重点テーマ（該当するテーマの□を☑にしてください）

（教員養成フラッグシップ大学公募要領より抜粋）

- ①学習者中心の授業デザイン・学習活動デザインについての理解増進，
ファシリテーターとしての教師の役割についての意識向上
- ②教育学や教師教育学、学習科学に基づく省察的実践（仮説設定，教育実践，省察）
を通じて学び続ける教師としての意識・態度の育成
- ③学習者中心の視点に立った教職科目体系の見直し（教科専門を含む）
- ④教師・保護者・地域・専門家等と協働する態度や，協働できる環境を整える組織
マネジメントの資質・能力の育成
- ⑤学校現場における教育データサイエンスの活用や STEAM 教育を先導する人材の
育成
- ⑥障害のある児童生徒，外国人児童生徒，不登校，経済的に困難な家庭の児童生徒，
特定分野に特異な才能のある児童生徒等，多様な子供への理解・対応力
- ⑦学部と教職大学院の一体的な教員養成カリキュラムの検討，現職教員研修
（教員育成指標）との連携の在り方の検討

フラッグシップ大学の特例を用いて新規追加する

科目名、単位数、対象学年、科目概要

学部 / 大学院	科目名	単位数	対象学年	科目概要
学部	社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン	1	3	教科等横断的な学習、STEAM 教育など、各教科・領域の枠組みや知識を総合的に働かせて、問いを立て、探究していくプロセスを通じて育成
学部	学びを支えるファシリテーションの技法	1	3	ファシリテーションの技法や学習するチームづくりの手法の習得を通じて育成

学部	チーム学校と多職種 協働	1	3	多様な専門職集団の中での教師の専門性や、学校外の支援との連携を効果的に行うための教師の役割、マネジメント力、情報共有ツール等に関する実践的な知識や技能を学ぶ
学部	教師のレジリエンス と自己管理能力の育成	1	3	レジリエンスの基本的な考え方とともに、自尊感情、感情のコントロール、ソーシャルスキル、ストレス耐性、ソーシャルサポートなど、関連要因について知識を得て、各々を高める方法についてグループワークを行い技術を習得
学部	教育のためのデータ サイエンス	1	2	データサイエンスを構成する基礎的な内容を学ぶとともに、教育のフィールドにおける具体的な課題の解決を通じて育成